

2025年11月13日

当院で経胸壁心エコー図検査を受けられた患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめたものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

**【対象となる方】**2019年7月～2021年12月の間に、経胸壁心エコー図検査を受けたまたはこれから受けられる方

**【研究課題名】**Superb Microvascular Imaging (SMI) 法を用いた左室血流イメージングの有用性に関する観察研究

**【研究責任者】**国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 部門長 泉 知里

**【研究の目的】**心エコー図検査における左室壁運動の評価や、左室内血栓の診断には、心内膜面を明瞭に描出することが重要ですが、肥満患者や肺気腫患者など、画像不良例が多く存在します。一方、現在使用できる左室コントラスト剤は存在せず、心エコー画像の処理方法の工夫で非侵襲的に心内膜描出を改善することができれば、患者さんへの身体的負担という面からも有益であると考えられます。キヤノンメディカルシステムズの Aplio i 900 に搭載されている Superb Microvascular Imaging (SMI) 法は、より低速な血流の描出を可能とする方法で、左室内にあたかもコントラストエコーによって造影されたかのような画像を、非侵襲的に通常の心エコー図検査の中で得ることができます。しかしながら、この手法の臨床的有用性は十分には検討されておりません。本研究では SMI 法を用いて実臨床における左室心内膜面の描出改善効果を示し、その有用性を明らかにすることを目的としています。

**【利用する診療情報】**経胸壁心エコー図検査

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、内服歴、心不全などの入院歴、心臓手術歴、身長、体重、肥満度、体表面積、血圧、脈拍、酸素濃度、心不全重症度・心機能分類、心電図：不整脈発作の有無を含む、胸部単純写真・CT・MRI 画像、カテーテル検査情報、採血データ：血液一般検査、生化学検査：腎機能・肝機能・栄養・電解質・糖尿・脂質・心筋/筋性酵素、脳性利尿ペプチド(心不全マーカー)

**【情報の管理責任者】**国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【外部機関への研究データの提供】

モーションアーチファクトの抑制など、SMI による画質向上に向けての解析のため、匿名化した心エコー画像データを、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

- ・共同研究機関及び研究責任者

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 超音波事業部

責任者：超音波事業部 超音波クリニカルソリューション担当 滝本 雅夫

【研究期間】研究許可日より2027年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 部門長 泉 知里

電話 06-6170-1070(代表)